

H26年度～R3年度までの麻しんワクチン接種状況

麻しん対策については、平成20年度から麻しん排除に向け、予防接種の接種率を95%以上とすることを目標として、実施主体である市町村をはじめ、各関係機関において種々の取組を進めてきました。

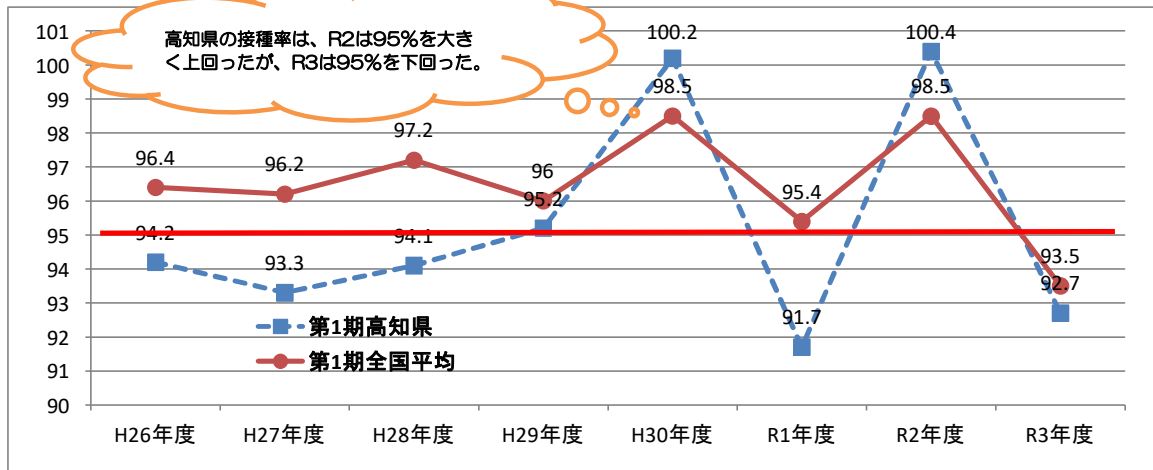
平成27年3月、世界保健機関西太平洋地域事務局により、日本は麻しんの排除状態にあることが認定されました。今後とも、麻しんの排除の状態を維持するため、麻しん対策の推進に努める必要があります。

高知県の第1期の接種率は、令和元年度は目標値の95%を下回り、全国で最下位となっていました。令和2年度は95%以上でしたが、令和3年度は再び95%以下で全国平均も下回っています。

第2期については、未だ、目標の95%を達成していない状況です。（全国平均でも95%には達していません。）

第1期 (生後12カ月から生後24カ月に至るまでの間にある者)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
高知県	94.2	93.3	94.1	95.2	100.2	91.7	100.4	92.7
全国平均	96.4	96.2	97.2	96.0	98.5	95.4	98.5	93.5
順位	42位	45位	47位	35位	3位	47位	4位	35位



第2期 (小学校就学前の1年間)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
高知県	92.1	91.4	91.3	93.2	94.1	92.8	93.0	92.3
全国平均	93.3	92.9	93.1	93.4	94.6	94.1	94.7	93.8
順位	42位	44位	43位	32位	36位	41位	43位	41位

